

平成30年度 小学校教職員を対象とする環境教育研修会 実施報告

「やってみよう！環境学習プログラム」

第2回「多摩川いきもの調査隊」実施報告(テーマ：水)

- 実施日時 平成30年7月31日(火) 10時00分～16時15分
- 受講者数 18名(教員15名、研修・聴講者3名)
- 実施場所 福生市立福生第七小学校、福生市周辺の多摩川
- 実施内容

【午前】

1. 事務連絡・開講挨拶等

- ・事務局から受講上の注意、全体スケジュール等の説明
- ・環境局総務部環境政策課から開講挨拶等

2. ゲストティーチャーからの講義及び実習

(ゲストティーチャー:NPO法人自然環境アカデミー専務理事 野村亮氏)

(1) 多摩川の水生生物の調査体験

- ・前週の台風の影響で多摩川本流が増水していたため、本流につながる水路にて、水生生物調査を実施





【午後】

(2) 採取した水生生物の観察と午前の調査の解説

- ・採取した水生生物を顕微鏡で観察
- ・河川の水質、水生生物の生息環境等の説明



3. 環境学習プログラム「“水” 調査隊」の紹介及び実習

(講師：NPO 法人環境学習研究会理事長 谷村春樹氏)

(1) 環境学習のポイント ～体験の重要性・森は命のみなもと～

- ・環境学習は、命について考え、学ぶ学習である。子供は実際に物事を体験する中で、理解し、気づき、学んで成長する。
- ・「森は命のみなもと」である。体験を通して、自然に生かされていることを感じ、自



然を大切にできるようになる。

- ・どんな教科でも環境学習につながる。今回の研修会も食やごみ、自然、エネルギーなど様々な入口があるが、出口は一緒である。

(2) 水の学習のポイント解説

- ・水が生命維持のために必要不可欠であることを認識させる。水の循環を意識させる。
- ・地球上の生命が使える水はごくわずかであることを解説し、無駄にしない、汚さない工夫をする。
- ・水を守り、生き物に供給しているのは森林であることから自然の大切さを知る。

(3) 「水」調査隊」模擬授業

① 「水の汚れ減らし隊」パックテスト編

【パックテストによる水の汚れ調べ体験】

- ・水道水、多摩川の水、ソースを垂らした皿を洗った水、ソースをふき取った皿を洗った水、について、パックテストを実施



②「水の汚れ減らし隊」廃油石けん作り編

- ・DVD上映
- ・授業における講義内容説明、生活排水を汚さない工夫紹介

(4) まとめ（質疑応答及び受講者同士の情報交換）

この日の研修を通じて、気づいたこと、感じたこと、授業での活用方法や各学校で実施した関連事例等について、グループごとに発表し、受講者で情報を共有。



(発表意見の例)

- ・バックテストは一目瞭然で分かりやすい。教員がゲストティーチャーを呼ぶにしても、情報を仕入れて、体験のポイントをしっかりしておく必要がある。
- ・いろいろな教科の中で、各学年少しずつでも、環境教育を取り入れていきたい。
- ・やはり体験することが大事だと感じた。物の見方を教師自体がかえていく必要がある。
- ・川の上流の学校と下流の学校で連携して、環境学習をすることもできるのではないかな。

4. 事務連絡、アンケート記入等（事務局）

アンケート提出後、解散